

水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（5/22現在）

農林総合研究所のV溝乾田直播見本栽培では、5月22日に選択性茎葉処理剤（トドメバ
スMF液剤）を散布しました。

水稲の出芽状況と雑草の発生状況は、以下のとおりです。

【耕種概要】

- ①品種 まっしぐら
- ②播種床造成 秋季耕起・代かき
⇒ 均平（4月24日）
- ③種子処理 種子消毒後に浸種し、
キヒゲンR2フロアブル塗沫
- ④播種機 V溝播種機
- ⑤播種日 4月26日
- ⑥播種量 乾籾10kg/10a程度
- ⑦施肥量 窒素成分10kg/10a程度（LP100）



写真1 除草剤散布の様子
（撮影日：5/22）

【水稲の出芽状況】

5月21日時点の見本栽培圃場における水稲の出芽数は、中庸な地点で120本/㎡程度、多
い地点で150本/㎡、少ない地点で70本/㎡程度です。

【雑草の発生状況】

見本栽培圃場では、ノビエ、オオクサキビ、越冬株から発生したホタルイなどの発生が
みられており、ノビエは4～5葉期まで葉齢が進んでいます。



写真2 イネの出芽状況（左）と雑草の発生状況（右）
（撮影日：5/21）

【今後の栽培管理】

薬剤散布後4日目から入水を開始する予定ですが、まだ出芽数の少ない地点もみられることから、急激に水位を高めず、土壌を湿らせて出芽を促すように、ゆっくりと湛水していきます。

【出芽が遅れている圃場の対応】

5月6日以降は降雨が少ないため、出芽が遅れている圃場もみられます。水稻の出芽が揃わない場合でも、ノビエなどの雑草の葉齢と薬剤の使用時期、使用上の注意事項を確認して適期に雑草防除を行ってください。

薬剤の使用時期については、ロイヤント乳剤やハードパンチDFなど、水稻の葉齢が薬剤散布の早限になっている選択性茎葉処理剤もあるので注意してください。

【X（旧Twitter）での情報提供について】

農林総合研究所の公式Xアカウントを開設しました！

水稻V溝乾田直播栽培の生育状況をはじめ、研究所の活動や研究成果、イベント、お知らせなどの情報を発信していきます。

詳しくは、農林総合研究所公式Xアカウント（右のQRコード）をご覧ください。

